

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
公民・現代社会		2	2	高等学校 現代社会 最新版(清水書院)
科目の概要と目標		現代の社会と人間についての知識・理解を深め、現代社会の基本的な問題と人間としての在り方生き方について自ら考える力の基礎を養い、日本人・国際人として生きる力を育成する。		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	第1編 現代社会における諸課題  第2編 現代社会のありかたと私たちの生きかた	環境、生命、情報  第1章 青年期と自己の形成 第2章 現代の民主政治と政治参加の意義 第3章 個人の尊重と法の支配	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命、環境、情報に関する科学技術の発達と社会における課題を理解する。</li> <li>青年期の特徴について、主に心理学的視点から自分のおかれている状況を理解し、青年期が延長されている現状を把握し、モラトリアムの意味と問題点を考える。</li> <li>現代社会の雇用の現状と課題を把握し、共生社会における働き方について考える。</li> <li>日本の生活文化や伝統文化について理解し、世界のさまざまな宗教を理解し、宗教のもつ意味について考える。</li> <li>日本国憲法の成立過程を理解する。また、大日本帝国憲法との比較を通じ、相違点を考え、日本国憲法の三大原則を理解し、象徴天皇制のあり方について考える。</li> <li>日本国憲法で保障されているさまざまな人権について、その内容を理解する。</li> <li>国会の仕組みと働き、議院内閣制の仕組みと特徴、裁判所の役割と仕組みについて理解する。</li> <li>日本の平和主義について第9条と自衛隊との関連をもとに考える。</li> </ul>	
2 学期	第2編 現代社会のありかたと私たちの生きかた	第2章 現代の民主政治と政治参加の意義 第3章 個人の尊重と法の支配 第4章 現代の経済社会と経済活動のありかた	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方自治の意味や役割、および地方自治の新たな動きについて理解する。</li> <li>政党の役割を知り、選挙の仕組みや課題について理解する。</li> <li>マス・メディアと世論の関わりを理解し、民主政治に与える影響について考える。</li> <li>生命に対する尊重と畏敬の精神を持つとともに、科学技術の発達にともなう倫理的課題について考える。</li> <li>人間の尊厳と誰しも平等であることを理解し、差別のない社会に向けて何ができるかを考える。</li> <li>市場メカニズムなど経済の基礎的な仕組みと概念について理解する。景気や物価の変動の原因を理解する。</li> <li>財政と租税の仕組みと機能について理解する。金融の仕組みと役割を理解し、金融の自由化の現状について考える。</li> <li>社会保障制度の歴史的経過を把握し、制度の内容と課題について理解する。日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解する。</li> <li>消費者の権利を理解し、かしこい消費者になるためにはどのように行動すべきかを考える。</li> </ul>	
3 学期	第2編 現代社会のありかたと私たちの生きかた  第3編 ともに生きる社会をめざして	第5章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割  先進国と途上国 財政から考える現役世代と将来世代 臓器移植を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際社会の成り立ちと、近年のグローバル化について理解する。</li> <li>第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解する。</li> <li>国際収支の仕組みと、為替相場の変動要因と社会に与える影響について理解する。</li> <li>南北問題の解決に向けてできることは何かを考える。冷戦後の世界における紛争の現状と背景について理解する。</li> <li>グローバル化する日本と世界の現状を理解し、共生社会の実現に向けて考える。</li> <li>国際協力の現状を理解し、真の国際協力をめざすにはどうしたらよいかを考える。国と国の関係に着目し、経済格差の問題をどのように調整すれば望ましい解決になるのかを考察する。</li> <li>個人と社会の関係に着目し、社会の維持発展のために自らが社会とどのように関わるかを考察する。</li> </ul>	